

只見中学校だより

只見中学校の学習の様子

学校教育目標 **考える生徒**

平成28年10月6日（木）

発行：校長 今井 仁

只見中学校の授業／学習の様子を紹介（フォトアルバム）

只見中学校は平成19年4月に統合（只見中学校、朝日中学校、明和中学校）し、今年で10年目になりました。生徒数は101名、クラス数は普通学級4クラス、特別支援学級1クラスの計5クラス。福島県教育委員会の配置教員数は7名ですが**＋2、また只見町からも2名の教員配置**を受けています。さらに**音楽、美術は非常勤教員2名、町から3名の特別支援教育支援員を配置**していただいています。

【只見中学校の生徒数】

学級	1年	2年	3年		特別支援
			1組	2組	
生徒数	29	29	20	20	3

3年生は法令上1クラスですが、県の基準により**2クラス編制**

【只見中学校の教員内訳】

教科	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家	特支
県	1	1	2	1	2	1	1	1	0	1
町			1					1		

※技術家庭は、県教委の許可を得て、体育と特別支援の担当教員が指導。

※教頭(教員定数外)は理科を指導。

※複数教員の教科は少人数指導(TT、習熟度別)を実施。

※支援員は各クラスに適宜入って、生徒の活動を支援。

【中間テスト】



1年生教室

10月5日に実施した中間テストの様子です。出題は国語、社会、数学、理科、英語の5教科。今週は部活動を休止して、生徒は学習に取り組ませてきました。

学習も運動も日々の取り組みが大切なのは言うまでもなく、このことを十分に理解し、「文武両道」を掲げて、諸活動の両立を図っている者もいます。文(学習)あつての武(部活動)であることを、もう一度確認しておきたいものです。



3年生教室



3年生教室



2年生教室

2学期も間もなく折り返し。夏休みの課題を今も取り組んでいる生徒がいるらしいとの声も聞かれます。折り返し点までには完遂させたいですね。

【中間テスト以外の教科】



保健体育・マット運動



美術・マイホーム模型



家庭・保育



読いと自学の場
図書室



のぞみ・日本地理



生徒作品
アットホームな
雰囲気

「試験や入試があるから頑張る」ずいぶん過去のことですがこんなことが聞こえた時期もありました。

只見中ではどうでしょうか？テストの有無にかかわらず、精一杯取り組んでいると思います。知・徳・体、三つをバランス良く高めていくこと、只見中だけでなく、どの学校でも目指している目標です。

全国学力・学習状況調査の結果 知識はほぼ全国レベル、活用に課題

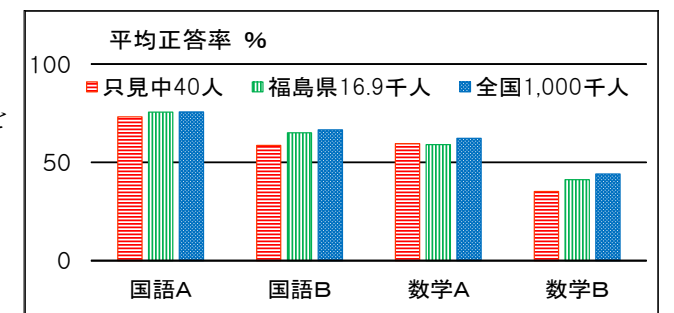
4月19日に中学3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査（主催：文部科学省）の結果を文科省、福島県教育委員会が公表し、新聞等で報道になりました。過日の学校だより（9月12日発行）でもお知らせしましたが、詳細をお知らせします。

1 学力状況調査

- ・国語と数学で“知識”と“活用”の問題を実施。知識はA問題、活用はB問題と呼ぶ。
- ・結果は、**点数ではなく、平均（学校、都道府県、全国）の正答数および正答率％**で表記。
- ・生徒個人には個人票を配付。学校には教科全体と各領域の平均値（学校、県、全国）を提供。

2 学習状況調査

- ・生活習慣や学習に対する考えを選択方式で実施。
- ・結果は項目毎に分布率％（学校、県、全国）を提供。



【当校の状況】

1 学力状況調査（参考：右グラフ）

(1) 知識を問うA問題

国語、数学とも、**只見中の平均はほぼ福島県、全国レベル**。正答の人数分布は、国語では平均周辺に厚い（全国比1.5～2倍）。数学では平均値周辺には少なく、両側に分かれている。

(2) 活用を問うB問題

国語、数学とも**福島県、全国を下回る**。正答の人数分布は上位が少ない。国語ではほぼ全問正解の割合が少なく（**全国比で約半分**）、数学ではほとんど手つかずの分布も多い。（**同比1.5～3倍**）。

2 学習状況調査（生活や学習習慣）

- ・「早寝、早起き、朝ご飯」などの**基本的な生活習慣は全国とほぼ同じ**。
- ・いじめに対する意識（**善悪の判断**）も**全国とほぼ同じ**。

概ね全国並。差が見られることは以下のとおり。〔前向き意見や状況が全国を**超える**○、**下回る**▲〕

- 「スマホ等を所持していない」、「2時間以上使っている生徒は約2割」（全国では3割）。
- ・「家庭での手伝い」、「地域行事やボランティアへの参加」
- ・「友達の話や意見を聞く」、「失敗を恐れないで挑戦する」、「将来の目標を持っている」
- ・「家では学校の復習をする」、「学校や学級のきまりを話し合っている」
- ・「教科の勉強は大切だと思う」、「教科が好き」、「復習をしている」
- ▲「学校外での学習時間」、「土、日の学習時間」
- ・「今回の問題を最後までやり遂げよう」と努力した」、「学習したことを普段の生活に活用する」
- ・「自分の意見を発表する」、「最後までやり遂げて嬉しかったこと」、「人の役に立つ人間になりたい」

【当校の対応】

普段の生活や今般の調査状況から見て、当校の生徒は素直で指示されたことはよく取り組んでいると認識しています。しかし、「**自分から進んで**」・「**継続して**」・「**活用を考えながら**」取り組むことには苦手のようです。以下のような取り組みを継続していきます。

- 従来どおり個別指導（TTや習熟度）や、簡単な教材・ICTの活用等でわかりやすい授業の実践**
- わかるだけでなく、問題練習を通じて「できる」学習の実践** ← 県教委編「定着確認シート」等々
- 具体的な指示を提示しながらの指導**
- 家庭学習の充実（学習時間の増量、学習内容の質的改善）** ← **ご家庭のご協力をお願いします。**

活用や継続意欲を高めるために、

- ハイレベル課題の提示、学習計画の進捗状況の把握や励ましの言葉かけ**